※令和３年度以前入学生用

学校番号	414

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「現代文Ｂ」　（教育出版　現 B327）						
副教材等	「新版七訂　新訂総合国語便覧」（株式会社第一学習社） 「国語常識のトレーニング　国語便覧ワークノート」（株式会社第一学習社） 「新版完全征服　頻出　入試漢字コア 2800」（株式会社桐原書店） 「評論・小説を読むための新現代文単語改訂版」（株式会社いいずな書店） 「錬成現代文　大学入学共通テスト対策新装版」（尚文出版株式会社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業ばかりでなく普段の生活の中でも語彙を豊かにするよう努める。近現代の著作に親しむことで、考える力・表現する力を身につけることが期待できる。その際、自分の視点からばかりでなく、他者の視点からも物事を見るよう心がけたい。さらに、そのようにして深めた自分の考えを言語化するよう努めるとよい。

２　学習の到達目標

・文章を読んで、構成、展開、要旨、情景、心情の描写などを的確にとらえることができる。
・文章を読み、批評することを通して、人間、社会、自然などについての自分の考えを深めたり、発展させたりしていくことができる。
・人間関係における様々な場に応じて、互いを尊重し、相互理解を深め、考えを伝え合うことができる。
・目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現できる。
・語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色を捉え、自分の表現に役立てることができる。
・積極的に学習計画を立て主体的に読書をする習慣を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったり、異なる意見を受け止めながら自分の意見を深め、まとめて発言している。	目的や場、相手や課題に応じて、様々な観点から考え、思考を深め、より伝わりやすい形で書いている。	幅広く深い話題・論題の様々な文章を的確に読み取り、自分の考えを深め、発展させている。	古語、漢語など伝統的な言語文化に加え、外来語、専門用語などに対する理解を深め、語彙等を身につけている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	評論	教材:「後生の桜」 石牟礼道子	○			◎	○	a:教材に関心をもち、作品の概要を読み取ろうとしている。 d:漁師の生活と自然との関わり、桜に対する人々の思い、娘に対する母親の思いを通してこの作品にこめられた筆者の思いを読み取っている。 e:方言や直接話法で書かれたことの意義と効果を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
	小説	教材:「アルプスの少女」 石川 淳	○	○		○	○	a:作品の主題や寓意に関心をもち、積極的に本文を読んでいる。 d:この作品を通して作者が述べようとしたことを読み取っている。 b:この作品から読み取った主題や作者の意図を話し合っている。 e:パロディの手法を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査 ・話し合いの観察
	評論	教材:「虚構のリアリズム」 岡　真理	○		○	◎	○	a:現実を「表象」する行為について具体的にイメージし、興味・関心をもって本文を読んでいる。 d:人々が感じる「リアルさ」に関する筆者の主張を読み取っている。 d:できごとの「現実性」と、虚構が作り出す「リアリティ」の違いを読み取っている。 c:現実を「表象」するという人間の営為について、自分の考えを的確に表現している。 e:論理展開、構成を正しく把握している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
	評論	教材:「地図の想像力」 若林幹夫	○			◎	○	a:地図が表象の一種という発想に興味をもっている。 d:「科学」についての筆者の考えを読み取っている。 d:地図は人間にとっての「意味」だという筆者の考えを読み取っている。 d:「テクストとしての地図」という筆者の捉え方を理解し、筆者の考えに対する自分の考えをもっている。 e:語句の意味・指示語の内容・接続詞のはたらきなどを正しく把握している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
二学期	詩	教材: 「小諸なる古城のほとり」 島崎藤村 「小景異情」 室生犀	○			○	○	a それぞれの詩のリズムや表現を意識しながら音読している。 d:詩に表現されている詩人の内面、素材についての思いを理解している。 e:詩の特徴や形式、構成、技法などについて理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

	評論	教材:「欲望と資本主義」 佐伯啓思	○		○	○	○	a:市場経済について関心をもっている。 d:「欲望」と「資本主義」に対する筆者の考えを理解し、具体的な例を想起している。 c:筆者の考えに対する自分の意見をまとめている。 e:論理の構築や展開、構成を正しくつかんでいる。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
	小説	教材:「同情トイフコト」 大江健三郎	○		○	◎	○	a:主題への関心、イメージをもち、それに対する意見、感想を述べている。 d:述べられているエピソードにおける心理的対立と和解の道筋を把握し、筆者の人間理解と主張を読み取っている。 c:作品の全体的な把握をとおして、主題を考え、要旨をまとめている。 e:具体例や引用がもたらす効果を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出 ・定期考査
三学期	小説	教材:「俘虜記」 大岡昇平	○	○		○		a:当時の戦争や戦場の様子を調べるなどして、積極的に読もうとしている。 d:アメリカ兵と対峙した主人公が射殺に至らなかった経緯を読み取っている。 b:主人公の心理を理解し話し合っている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題の提出

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。